

文化・芸術の広場



「山鹿灯籠踊り」

和田 英敏 さん撮影

カメラ ニコンF4 (ストロボ使用)
絞リ F5.6 オート
フィルム コダック

ピンボケ会



友 平成 21 年度 通学合宿・野外体験キャンプ 情と絆を深めあった一週間!

今年も、桂川町住民センターでは8月31日～9月6日までの一週間、小学6年生の子どもたちが集団生活を体験する通学合宿が開催されました。今年も、男女計25名が参加し、寝食などを共にすることで友情を育み、協調性や規律を守るといった自己研鑽ができました。また、子どもたちの指導にあたった多数の地域ボランティアスタッフとも世代を超えた絆を結ぶ、実り多い一週間でした。



驚 大谷典子さん(土師二) 投稿記事 き!! 双子のガーベラが咲きました!

もう30年近くなりますが、毎年5月の初旬になると、庭の榎の木の根元に私の母の代からの思い出の花、ガーベラが綺麗に咲きます。今年も楽しみに咲き誇った花々を見ていると、なんと一本の茎に二つの花を付けたガーベラがあるではありませんか。あまりの不思議さに思わず写真に撮りました。生まれて初めて見ましたが、この珍事に“何かいいことがあるのかも”と期待しています。

俳句会 (八月例会)

大庭土筆選

特選

今朝秋の草を食みをり母子馬

立秋や電話の奥に嬰の声

本選

しろがねの風立つ墳の秋に入る

運命に逆らわず生き星流る

寝たきりの母の窓より遠花火

藤田 昌愁

木下 民子

花田ムツ子

摩治 廣子

原口 孝子

短歌会 (九月例会)

矢野京子選

雨あがり糸のころ草は庭畑に長き穂を振る踏み場なきまで

寝苦しき昨夜思ひつつ戸を練ればノボタンの花ひとつ咲き初む

出穂期に肥やしを与へし稲の葉は濃みどりとなりて風に匂へり

孫つくる団子の形さまざまを供へり遺影の母も笑はむ

夏祭りの法被の折り紙貼られたるハガキ届きつ残暑見舞に

香月 昭子

原 哲子

神崎 鈴子

小川 孝世

木原トシ子

編集*後記 Editorial Postscript

- ▶ 9月13日の日曜日、初めて九州国立博物館に行ってきました。もちろんお目当ては、昔、社会の教科書で見た奈良・興福寺の阿修羅像。
- ▶ 連日、もの凄いな数の見物人が訪れるとあって、友人3人と早朝一番乗りを目指して開館1時間半前に着いたものの、既に駐車場は満車、入館口には500m近い行列が。開館してから、待つこと30分、やっと生の阿修羅像を間近で見ることができました。その姿は、1千数百年前の人々が作ったとは思えないほどで、“素晴らしいものが見れて幸せ”と思わず手を合わせ、感謝してしまうほどでした。
- ▶ 芸術の類に造詣のない私ですが、“昔の人々がどのような思いでこの阿修羅像を作ったのか”などを考えると非常に感慨深いものがこみ上げてきます。今回の阿修羅像を始め、先人の残した様々な遺跡・遺産は、何も無い時代になし得たからこそ、見る人々に感動を与えられるものを持っているのでは私と思います。
- ▶ これら人類の宝のみならず、地球そのものをしっかりと後世に伝えていかなければと誓いを新たに9月でした。(齊藤)

